

明けましておめでとうございます。

今年の干支は癸卯(みずのとうさぎ)の年、この年は「事の始まりと終わり」の気が強く、過去の時代には終わりや始まりを告げる出来事が多く起こっているようです。新年は古いものが閉じられ新しい息吹が湧き上がる年ともいえるようです。

霊峰・富士の高さ3776メートルの深義

さて毎年、光透波たよりの新年号には富士山と日の出の写真を掲載させて頂いています。霊峰・富士は日本の象徴であり日本一高い山です。その高さは3776m。この数字には人智では読み解けない深い意味が隠されていることをご存知でしょうか？



霊峰・富士山の高さ**3776m**→「ミナナム」の謎

「3776」は「ミナナム」→「皆76」読めます。この「76」は「ナム」→「南無」＝「全託する」意味に展開できてきます。

また「76」には「76音」の意味が秘められています。この76音こそ、すべての音の元素音であります。そして音は波動であり、この波動によって森羅万象が生成流転している……。これが宇宙の真相実態であると光透波理論では説いています。(詳しくは光透波講座へ)

「3776m」→「ミナナム」→「みな76音に全託している」。世界のヘソの国である「日の本の国」を象徴する霊峰・富士には、このような秘められた真理が隠されていたのです。偶然でしょうか？いや、この世の中には偶然というもの一つとして無いのです。

最高究極の波動＝エネルギーこそ光透波

現代科学ではこの宇宙は全て波動によって成り立っているとの見地に立っています。そして、ありとあらゆる波動の中で最強究極の波動が「光」すらも「透」明にさせている「波」動、それが「光透波」であり、光透波＝コトハ→言葉と展開できてくるのです。ただ、人類が使っている言葉とコトハ(光透波)とには大きな乖離が生じています。森羅万象はこの究極の波動＝光透波のエネルギーによって成り立っているのです。

小田野先生は音の元素音が76音であることを解明

ご存知のように、色の元素は「赤・青・黄」の3原色であり、この3原色の掛け合わせによって、ありとあらゆる無限の色が生み出されています。

では、音の元素音が幾つあるかご存知でしょうか？このことに関し、人類は古今東西を通し誰一人として関心を持った人も無く、もちろん分かる者はいなかったのです。この謎を読み解いた人が光透波の祖・小田野早秧先生でありました。

小田野先生は卓越した探求心と透徹された境地に立って、音の元素音が76音であることを解明されたのです。そして、その一音一音の意味も読み解かれ、宇宙が76音の波動によって生成流転している真相実態を読み解かれたのです。

この宇宙に繋がる新しい時代の言霊学が光透波理論であり命波学なのです。詳しくは各地で催している光透波講座へ……。

文責 宿谷

「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

新年 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

癸卯の年を読み解きますと……

今年は癸卯(みずのとう)の年を迎えました。どのような年になるのかと問うて観たところ、「迎」えるという字は「卯」が走ると読めます。では、どの様に迎えるのかを「卯」の字を天鏡図で索引しますと「卯＝うさぎ」(う→右于有・さ→又左・ぎ→宜)の表意字が書かれています。

「うさぎ」の意味を読み解きますと(宇宙の今茲【いまこ】は左右の交叉の一点に由って有る。それは宜(喜び)であり、それが走っている。それは今茲の(肉眼では見えない目の前の抽象の透明真空)の5次元点の場を、自覚する波動を今年を迎えるということとなります。「今茲は目の前の真空のエネルギーであり、私達の命のエネルギーの場」です。卯の年を迎えられて、昨年からの強い波動に乗り、より天の波動を直視して、お一人お一人が天の今茲をキャッチして天と繋がっていくことを心よりお祈りいたします。

先生と兄・泉實が力合わせ命波理論の骨子が完成

さて、昨年に引き続き命波を学ぶ流れのなかで、今年も様々な体験や情報を綴ってゆきたいと思います。

小田野早秧先生と兄は昭和49年3月23日に出会って、兄は5月以降、名古屋から東京の田園調布の小田野先生宅へと車で送り迎えするようになりました。毎月のように名古屋から東京を往復する生活が14年間続くことになったのです。その間、小田野先生と兄は各地を回っていました。

小田野先生が堀尾宅にお越しくださって最初の滞在は半月ぐらいいましたが、段々と長くなり1、2ヶ月となってゆきました。小田野先生は朝から夜中まで、愛を持って兄へ命波理論を厳しく押し込む形で教え続けておられました。そのような生活が約4年半続きましたが、そのような過程を得て、二人の研鑽と意見交換によって漸く命波理論の概略骨子が出来上がっていったのでした。

14年間にわたる小田野先生との生活

その間、母が勤めていた会社の各地の温泉保養施設へ、母の手配で小田野先生と私たち家族はよく出かけていました。命波の同志が集まった頃から湯質の良いお気に入りの下呂温泉に時々行き、勉強会を兼ねて親睦を深めてゆきました。14年間、随分色々な所へ家族と一緒に出かけました。

小田野先生は四季を通じて母が用意した着物姿で、どこに行くにもエプロンをしてポケットにメモ帳を忍ばせておられました。

食事の面では先生の好き嫌いは無く、なんでも召し上がっていました。たった一つ、幼い頃にサツマイモを自分の意志でなく二度食べさせられて、喉や胸につかえて苦しい体験をされたことから、それ以来「サツマイモは食べられません」と、自分の意志の言葉で伝えているとお聴きしています。

母や兄は魚が大好きで先生もおいしく召し上がっていました。私はどちらかと言えば焼魚が好きでしたが嗜好が変わったのか、今ではお刺身が大好きになりました。

週2回でしたが、豊田市から農家の生産者が来て新鮮な季節の野菜や魚を直接売る店が近所にあり恵まれていました。母は魚の目利きがあり、より品のよい魚が入ると兄が上手くさばき刺身などにして頂いていました。

春になると自宅近くの野草の宝庫である香流川の土手に土筆・ヨメナ・よもぎ・甘草・たんぽぽの葉・アザミなどが芽吹き、天ぷらにしていました。(現在は護岸工事によって土筆は全く出なくなり悲し限りです)

先生からの直伝、野草料理のレシピ

その中でも土筆のつくだ煮やよめ菜の塩たたきを小田野先生の直伝をいただいておりますので、作り方をお伝えします。

「土筆のつくだ煮」の簡単レシピ。材料は土筆と油と醤油のみです。

- ①土筆の袴を取り洗い水切りする。袴を取るのがちょっと手間ですが、頑張ってください。
- ②フライパンに油を引き土筆を炒めてしんなりしたら、箸で鍋底から適宜回し移動しながら 水気を飛ばす。

③少し追い油を加えて火が通ったら、鍋底を少し空けて醤油を垂らし、そのまま焦げる手前で醤油の香りがしたら、手早く鍋底から動かして絡めます。その作業を繰り返して好みに応じた味を決めれば出来上がりです。

暖かいご飯の上に乗せれば何とも言えない自然の恵みを味わえます。酒の肴にも最高ですね。

「よめ菜の塩たたき」の簡単レシピ。よめ菜の見分け方は、葉が少し細長く葉の裏が紫色です。花は都忘れのような優しい紫色の小菊です。頂く部分は新芽や若葉だけです。成長した葉はアクが強くおいしくありません。

①材料は新芽か若葉と塩のみです。

②葉を洗い沸騰したお湯にさっと湯をくぐらせると鮮やかな緑色になり、水気を手や布巾でしっかり絞る。絞りが甘いとサラサラになりません。

③その塊をまな板の上に置き包丁で細かく刻みます。刻みながら塩をふりかけ刻みます。この作業が塩たたきの由来の様ですね。

得も言われぬ美しい緑色のよめ菜の塩たたきの出来上がりです。温かいご飯に乗せて目で楽しみ、お口の中がさわやかなスーとした優しいハーブの香りが広がります。野のアクは春の自然の恵みです。夏の暑さに耐えられる強い身体を自然は用意してくださっています。是非一度お試しください。

命波を広めるため先生と兄は各地を行脚

小田野先生は自然に対して非常に素直で、生活のリズムが自然に添った合理的な数理的思考を、いつも当然のように実生活に取り入れられ、特に自然の植物はこよなく愛していらっしゃいました。

自然を生かし丁度よい塩梅で草木を食して培った身体と五感覚をお持ちになっていたからでしょうか？小田野先生は鋭敏な感性を磨かれ多方面に影響を及ぼされていたことが14年間の歩みから感じ取れます。現時点での気付き分かったことを、いつも小田野先生の靈魂にお伝えしてお礼を申し上げさせていただいています。

小田野先生から享受させていただきました兄・堀尾泉實がまとめた「命波理論の概略」骨子の36時間の命波基礎講座が出来上がり、昭和53年春頃から命波学を学ぶ新しいご縁の方々が集まり始めました。用意されたかのように母の協力もあり、千種区姫ヶ池の会場を学び舎として借りることが出来ました。

その学び舎にいつも主要メンバー10人程が集まり研鑽を積み始めました。この頃から少しずつ名古屋講演会を開きながら東京・大阪・九州福岡・博多と講演や講習会を開くようになってゆきました。

それぞれのお役目の方々のご尽力もあり、小田野先生と堀尾泉實講師は各地へ36時間の命波基礎講座を開き、共に命波学を広める行脚の活動を展開するようになったのです。

何処に行くにも兄が運転し、小田野先生は助手席の役目を果たしていると自負されながら、各地の講座を継続し尽力すべく巡回されていました。(つづく)

堀尾 君子

1 月 光透波セミナーのご案内

● 「諏訪 光透波講座」 (第3回)

- 日 時 2月 18日(土) PM 1:00~PM5:00
- 場 所 神州の龍神 喫茶室 長野市諏訪市中洲1362 090-4181-5310
- 演 題 「色即是空 宇宙の実態は波動の世界」 ※休憩・コーヒータイムあり
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 4,000円

※ お申込みお問い合わせは宿谷 090-2447-2037 又は神尾 090-4181-5310

● 「ワクワク光透波塾」 (第139回 光透波セミナー)

- 日 時 1月16日(月) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 A (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「大転換の時代と光透波」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1)4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3,000円

●Zoom入門講座

● 1月17日(火) PM 8:00~PM10:00 「⑤心のお話」

● 講師 宿谷直晃

●参加費 3000円

※Zoom 講座の申し込み先 syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

●名古屋 命波学講座

●日 時 1月3日(火) AM11:30~PM6:30 中級講座 第2・3回

●日 時 1月13日(金) PM 2:00~PM5:00 和やか会

●日 時 1月14日(土) AM 8:30~AM11:30 中級講座 第4回

●日 時 1月14日(土) PM 1:00~PM4:00 和やか会

●日 時 1月26日(木) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第3回

●場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201

●講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講希望の方は日時調整しますので、お問合せください。090-8499-5989

●名古屋 光透波塾 (光透波と神との関り)

●日 時 1月12日(木) AM 10:00~PM1:00 ・熱田神宮参拝と光透波講座の集い

●演 題 「神の認識の仕組み」

●日 時 1月22日(日) AM 10:00~PM1:00 ・熱田神宮参拝と光透波講座の集い

●演 題 「神と五十音の関係」

●場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)

●講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※ お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●Zoom 入門講座

● 1月11日(水) AM10:00~PM 0:00 ④「言語と生命」

● 1月25日(水) AM10:00~PM 0:00 ⑤「認識の仕組み」

●講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※事前予約必要 ご連絡いただければ、IDとパスワードを送ります。

※ Zoomのお申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●明石 第19回 日本語セミナー

●日 時 1月28日(土) PM 2:00~PM 4:00

●場 所 明石駅 (会場詳細は林まで・・・)

●演 題 「2023年 開運」

●講 師 林和也 ●参加費 3000円

※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

光透波の会

實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀尾君子
メールアドレス	s8910kimiko@yahoo.co.jp	090-8499-5989
光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯部賢一
メールアドレス	isobekk50@yahoo.co.jp	090-9199-0248
光透波ワクワク塾	東京都品川区小山6-19-5	宿谷直晃
メールアドレス	syu98-8do8@mbr.nifty.com	090-2447-2037
光透波・言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添2-5-12	林和也
		090-8580-3776

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>